

株主・投資家とのかかわり

荒川化学グループは、IR・広報活動を通じ、株主や投資家の皆様からのご理解、ご信頼にお応えできるように努め、企業価値の持続的な向上を目指しています。

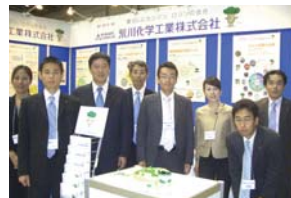
●IR活動

アナリスト・機関投資家向け決算説明会を年2回開催し、社長自らが、事業内容や経営成績、中期経営計画の進捗、今後の展望について説明するとともに、参加していただいた皆様からのさまざまなご質問にお答えしています。

また、個人投資家の皆様に向けては当社の事業内容へのご理解を深めていただくため、「日経IRフェア2009」に出展しました。当社製品が日常生活で使われている具体的な実例を展示物で示すと同時にロジンや超淡色ロジンの実物も展示し、当社社員がご来場いただいた皆様に丁寧に説明しています。



決算説明会風景



大勢の方にご来場いただいた「日経IRフェア2009」の当社ブース

Voice



経営企画室
中辻 昌也

はととてもうれしかったです。今後も一人でも多くの方に当社を知ってもらえるようIR・広報活動に力を入れて取り組みます。“荒川化学”と“マツタロウ”を一般社会で広く知られるようにしたいですね。

最終消費財を販売していない当社は、残念ながら一般社会ではほとんど無名です。そのため、IRフェアでは来場者の方一人ひとりに、可能な限り丁寧に説明させていただきました。「知らなかったけど面白い会社だね」などの感想をいただいた時は



来場者に荒川化学の魅力をお伝えする

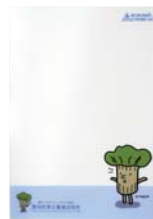
●広報活動

株主や投資家の方々を対象に、さまざまな資料を提供しています。ホームページでは決算短信をはじめとする適時開示資料、報告書、有価証券報告書、決算説明会資料などを速やかに掲載しています。

また、当社グループを幅広く一般の皆様にもご理解いただくために、当社と馴染みの深い松の木をモチーフとしたキャラクター「マツタロウ」を通じて新聞・雑誌などでの広告活動も展開しています。



ホームページでの情報提供例 <http://www.arakawachem.co.jp/>



キャラクター「マツタロウ」の各種ノベルティグッズ

●ステークホルダーへの貢献

当社グループでは、全てのステークホルダーから信頼される企業となるため、顧客ニーズや社会の変化に迅速な対応が可能となる事業基盤の構築を第2次中期5カ年経営計画の基本方針に掲げ、グループ最適の経営を目指しています。

- コーポレートガバナンス体制の更新・改革による企業価値の維持・向上
- 取引先と連携したサプライチェーンマネジメント体制の構築
- 品質・環境・保安管理システムの構築
- 当社グループに適した社会貢献の推進

●株主還元策

当社は、安定的かつ継続的な配当を維持しつつ、積極的な株主還元策に取り組むことを基本方針としています。配当につきましては、連結配当性向25%程度の安定配当維持に努め、将来的には30%以上を目指していきます。